※記載例を参照の上、ご記入ください。

（様式第3号）

企業・団体名（　カゴメ富士見工場　　）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）【R5.11.30様式改定】

	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			社内にコンプライアンスホットラインがあり、内容は年1回社内通達で報告、共有化されている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	人権・労働	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			ハラスメントの禁止を社内方針として工場定例会等で教育。ホットラインへの通報、相談もできる体制になっている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	人権・労働	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			毎月、中旬に該当月の残業時間実績を各職場の管理職に共有化し残業抑制を図っている。 月次労使協議会にて特別条項適用者の報告、申請とあわせて改善策を協議している								8.5 8.8									
4	人権・労働	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			対象者無し				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5	人権・労働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			安全衛生委員会を毎月開催し、各部会の活動報告を通じて課題改善に取り組んでいる			3					8								
6	人権・労働	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			メンタルヘルス担当者を設置、本社関連部門と連携し対応している。 年1回ストレスチェック、心と体のアンケートを毎月行い、必要に応じて対策に取り組んでいる。			3													
7	人権・労働	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			ダイバーシティ事務局、委員にて、ダイバーシティの理解促進、心理的安全性の浸透等に取り組んでいる					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	人権・労働	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			入社年度に応じた人事部主催教育への参加、 工場内技能教育を毎年開催				4	5.5			8	9								
9	人権・労働	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			契約社員処遇制度について全社の規定を随時見直ししている					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	人権・労働	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・「カゴメ健康7ヶ条」を制定し、健康経営を宣言 ・国内の全事業所に健康管理窓口を設けて、保健師が担当窓口と連携しながら巡回、従業員面談を実施 ・毎年、カゴメ健康レポートを発刊し管理栄養士・保健師による従業員向けの研修を実施			3					8								
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・処理業者の選定と定期監査の実施・不要物管理手順書および廃棄物処理委託手順書を定め、適切な社内保管と処理委託を行っている。 ・廃棄物処理業者に対して年1回の現地確認を行い、廃掃法および契約書の内容に則った処理が行えていることを確認している。											11.6	12.4		14.1			
12	環境	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・各変電設備のブレーカー単位での電力計測の他、水・蒸気・エアー流量計のデータをオンライン上で監視している。 ・月毎に工場全体および生産ライン別のエネルギー使用量(電力・LNG)とCO2排出量を集計し、社内共有を図っている。							7.3						13				

	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
13	境	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			① 省エネ課題の積上、進捗管理 ② ボイラー排ガスに含まれるCO2を利用することで、八ヶ岳みらい菜園でのトマト生育に使用する液化CO2使用量を50% 程度抑制している。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			薬品管理一覧表にて使用記録を残し、管理している			3.9			6.3					11.6	12.4					
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・生物多様性方針を制定し活動を展開 ・農薬、肥料使用への環境配慮。生物多様性調査などの活動を展開						6.6									15		
16		【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・不要物を28種に細分化することで分別の徹底を図り、99%以上の再資源化率を維持している。 ・ドラム缶、ポリ容器の社内外での再利用を行っている												12.5		14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			・カゴメグループの水の方針を制定し、グループ全体で水資源の保全に取り組む。 ・工場では、月次で使用量、仕様原単位の確認を行い、節水活動を実施。						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			ISO14001を取得			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			・企業HPおよび統合報告書による取組み内容の報告 ・各種イベントでの環境展示、取組み内容の講演を実施												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			・各事業所施設への太陽光発電設備の積極導入を展開中。 ・蓄電池導入、野菜残渣を活用したバイオマスプラントを導入している。							7.2						13				
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			・工場CO2を利用した循環型菜園の稼働 ・太陽光発電の導入 ・CO2フリー電力の調達取組み												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			カゴメグループ贈収賄防止方針の具体化として贈収賄防止規程が制定されている																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			会社の行動規範の中で周知している																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			会社の理念体系の中で周知している https://www.kagome.co.jp/library/company/ir/data/integratedreport/2018/pdf/2018_5.pdf								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			個人情報保護強化策の一環として、「重要個人情報」の取扱い・管理状況の監査を全社で毎年実施																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			鉱物の取り扱い無し																16	

27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			・ビジネスパートナーである調達先と共に持続可能な社会の実現に貢献するために、「カゴメ CSR調達方針」を制定。 ・本方針では、公正・公平・透明な取引を実践し、法令・倫理の遵守や人権・労働、環境へ配慮した調達活動の推進を定めている。				5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			パートナーシップ構築宣言を公表し、以下に取組み 1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携 2. 「振興基準」の遵守			3				8	9	10							17
		チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			製品分析を定められた頻度で行い、分析値が規格内であること、香味に異常が無いことを全製品で確認している			3.9									12.4					
30	製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			社内の品質マネジメントシステムを構築し、規定に従って対応している									9								
31	製品・サービス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			・カゴメプラスチック方針を制定、実働。商品容器におけるプラスチック使用量削減目標らを宣言。 ・紙容器飲料にて、FSC認証マークの紙容器を使用し表示。						6						12	13	14	15		
32	製品・サービス	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			・健康課題解決に貢献できる商品の開発、提供。健康セミナーなどによる野菜の価値伝達の発信。 ・地方自治体や他企業と連携した健康に関する取組の推進 ・地域の農産物の消費拡大（地産全消の取組み）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			地域活動への参画、協力（イベント協賛）、近隣住民からの要望に対し、対応を継続して行っている				4					9		11	12		14	15		17
34	社会貢献・地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			・「カゴメみらいやさい財団」設立により、食に関わる社会貢献を行う団体への助成活動				4							11			14	15		17
35	社会貢献・地域貢献	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ			・“地産全消”を旗印に、地域の農産物の恵みを日本全体で消費するというコンセプトとした「野菜生活100季節限定シリーズ」の商品展開 ・地域に眠る価値ある農産物を商品化することをコンセプトとした「農園応援(通信販売)」の商品展開								8	9		11	12	13				
36		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			・各事業所における企業理念の掲示 ・中期及び年度経営方針・経営目標について毎年発表会を実施、また、通達発信による共有啓蒙を実施。								8	9								17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			従業員の法令または諸規則の違反、不正行為、反倫理的な行為やそのおそれのある行為を発見した場合にそれらを速やかに是正または未然防止するために、連絡・通報することができる全社の内部通報窓口を設置															16	

38	組織体制	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			全社的なリスクマネジメントについて、リスク管理体制として食品企業として重要視する5つの専門委員会を設置。リスク管理の統括機関として、代表取締役を議長とする「総合リスク対策会議」を設置																16	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			経営層が株主総会、決算説明会、また従業員と対話する場を通じて対応している																16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			・社長直轄の総合リスク対策会議を組織化、5つの委員会を設け、各委員会にて定期的にリスクの特定、評価と対応の検討を実施。																16	
41		【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			カゴメグループサステナビリティ基本方針を制定し 社会課題の解決に取り組んでいる																16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			・全社および各事業所にてBCP事業継続計画を作成 ・経営資源別に役割と初動を明記した基準等を整備								9		11		13 13.1			16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			・当社は監査等委員会設置会社であり、中長期的な事業継承リスクは主に監査等委員会にて検討。 ・取締役の指名、報酬については、報酬・指名諮問委員会において、審議した内容を取締役会に諮り決定することで、客観性、公正性を高めている							8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、ＮＡＧＡＮＯものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件２」は、ISO26000（※１）、RBA（Responsible Business Alliance）（※２）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、　間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
※１…組織の社会的責任に関する国際規格　　※２…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定